

日本共産党久喜市議団としての

代表質問（項目と要旨） 6月20日（3番目）

1 国政の動向と市民の暮らしについて
市民の暮らしは厳しさが増し、支えていくことが求められているが。

2 誰もが安心して暮らせ、希望が持てる社会への転換、社会保障の充実を
久喜市の公共料金、国保税、介護保険料、水道料金は県内でも高い位置にあり引き下げの検討を

3 障害者支援事業の推進は 安心の街づくりそのもの
障がい者施設の実態調査、手話言語条例の具体化をどうすすめるか。

4 公共交通の見直しは、地域間格差の是正を視野に入れてすすめるべき
久喜市全体の利便性向上をめざし、循環バスを全地域に運行を

5 いのちと健康をまもり、安心してくらせる久喜市政の推進を求めて
健康寿命を延ばすには、病気の早期発見、早期治療が求められる。済生会栗橋病院の急性期部門の存続を。

6 教育環境の整備・子育て支援の拡充
大規模給食センターは凍結し、子どもたちのことを第一に考えた自校方式による学校給食を。給食費の無償化や医療費の無料化を拡大すべき。

7 地域経済の活性化 地域循環型経済の推進が求められている
小規模事業者への発注増を、住宅リフォーム助成制度の創設、農業の活性化に向けた施策は。

8 久喜市の住環境整備と、安心安全の街づくりをどう進めるか
冠水解消に向け、冠水対策の計画をつくり市民に公表すべき

9 久喜市に住みたい久喜市の魅力発信
家賃補助制度の創設、市内のトイレ設置拡充、栗橋関所復元で活性化を。

10 「人間尊重・平和都市」宣言を掲げている 平和な久喜市をねがって
市長の平和に対する思いを聞く。

石田としはる議員



4月22日の改選から初の定例議会が8日に始まりました。議会初日、新市長の所信表明には多くの市民が傍聴に訪れ、期待の高さを表していました。
日本共産党議員団では、梅田新市長に対し、石田議員が会派を代表して市長の施政方針をたじます。また、各議員は、選挙中に市民に示した公約を一般質問で新市政において実現を迫ります。

6月議会
代表質問

梅田新市長に市政の転換を求める

全員協議会開催 「広報くき」の廃棄問題など報告が

危ぶまれる中学校部活動指導員配置事業

部活動指導員は専門的な知識・技能を有し、顧問として単独で大会等に引率できるもので、担当教員の支援や、部活動の質的向上を図ることなどを目的として位置づけられたものです。予算は国・県・市がそれぞれ1/3を支出するものです。久喜市は8人を配置する予定で予算を4,460,800円確定していました。しかし、県がモデル事業3市以外の予算計上を見送ったことから国・県の補助金2,973,000円が見込めなくなり、事業が実施できない状況です。

今後の対応として市教育委員会は、平成30年度については9月補正予算において財源の組み換えを行い、（財源を確保し）10月から3月までの6ヶ月間、市単独で行う予定です。

しかし、平成31年度については見通しが立っていません。



議員団から確認の質問
問 廃棄は、止むを得ないとしても、選挙後に変更があり得る記事は掲載を控える、など工夫ができたのでは。

「広報くき」5月1日号の廃棄処分について
給食センターの特集を報じた広報5月1日号を、廃棄処分にしたとの新聞報道がありました。理由は、給食センター建設事業の再検討を、公約として明言した梅田氏が新市長となり、「この内容では配布はできない」と判断したためです。
6月1日には、全員協議会が開かれ、処分された広報の金額は144万円分、職員残業代33万円、特別版費用15万円が追加で支出した、との説明がありました。



2018年5月1日号（no.195）は、4ページの簡易版として発行されました。

問 4年後、同様のことが想定される。再発防止策の考えは。
答 編集内容も吟味し2度とこのようなことがないよう取り組む。
問 新年度の取組み内容を基本に編集に取り組み、考えが及ばなかった問 問い合わせた市民には「市のミスで」としている。責任のない市民の税金で補てんするのは問題では。
答 「止むを得なかったもの」との判断をしている。
問 4年後、同様のことが想定される。再発防止策の考えは。
答 編集内容も吟味し2度とこのようなことがないよう取り組む。

渡辺まさよ

久喜市所久喜 705-3



6月25日（月）の4番目（午後）

1 さくら保育園の跡地対策を

さくら保育園跡地が西公民館の駐車場になる。隣接する道路が狭いことから安全対策を。さくらの木も残してほしいがいかがか。

2 物流センター建設、住民生活の安全優先を

理科大跡地に建設中の物流センターの営業が間近であるが、企業との協定書を結ぶべきである。どうなっているか。これまでも指摘してきた、交通量の増加に伴う安全対策をしっかりとすべきである。いかがか。

3 学童保育の改善を進めよ

学童保育の児童増が著しい。改善計画を立て、対応を急ぐべきだがいかがか。

4 年金支給が誤って減額されている 市民への影響は

久喜市民の被害状況はどうか。対応はされたか伺う。

5 国民健康保険税の引き下げを求める

子どもの均等割は軽減をすべきである。いかがか。

6 乳がん検診事業の充実を求める

乳ガン検診は2年に一度から毎年拡充し、エコー検査も加え、早期発見につなげるべき。命を救う政策をすべきではないか。

石田としはる

栗橋東5-7-2



6月22日（金）の2番目（午前）

1 南栗橋 液状化対策工事の影響

- ・地下水位を下げていく工事、水抜き状況と影響はどうか。
- ・汚水管渠改良工事を進めているが液状化対策工事との関連は。

2 済生会栗橋病院の一部機能移転、急性期部門の継続に向け、市の積極的対応を

- ・急性期部門を残し、緊急時の対応が可能な病院としての存続を求めていくべき、市の対応を聞きます。
- ・国の助成制度もある、済生会病院への運営補助金を助成すべきです。信頼関係の醸成にもなると、市に求めます。

3 公共交通全体の見直しは地域間の格差をなくす方向で

- ・栗橋地区は循環バスが運行されず「置いてきぼり」との声さえ聞かれます。久喜市全体を見据えた公共交通を求めます。

4 栗橋地区で実施している自校方式による給食の継続を

- ・市民の要望、子どもたちの強い願いを受けとめ、運営継続を求めます。

5 「埼玉県ゆかりの偉人」に久喜市から推挙を

- ・下總皖一氏は、作曲家、音楽教育家として 高橋郁氏は、作詞家として県の内外で活躍してきた方、是非推挙すべきです。

6 地域包括支援センターの名称を「高齢者相談センター」に

- ・高齢者の皆さんが気軽に相談できる場所として、わかりやすい名称にすべきとの思いから提案します。

改選後の市議会 6月議会 公約実現へ全力！

杉野おさむ

桜田3-7-504



6月22日（金）の5番目（午後）

1 鷲宮運動広場に公衆トイレを

年間1万人近くの利用者がある施設に、トイレもなく、多くの市民から設置要望がある。早期の設置を求める。

2 大雨冠水被害への抜本的対策を求める

① 西大輪JR線西側一帯 ② 小林ハイツすずかけ地区 ③ URわし宮団地一帯 について、被害防止のための具体策の実施と、中長期の改善計画策定に向けて、幸手市や杉戸町などとの協議を進めるよう求める。

3 介護保険制度での負担軽減と改善を求める

① 国が本来負担すべき5%の交付金が1.13%しかない。その分は市が負担して保険料の引き下げに充てるべき。
② 65歳になると障がい者は介護保険制度が自動適用になる。受けていた障害サービスが受けられなくなるのは問題だ。引き続き「障がい者が必要とするサービス提供」を

4 生活保護基準の引き下げは行わないよう求める

生活保護制度は、見直しのたびに削減されている。この秋10月からの引き下げは、最低生活をさらに切り詰めることになり、大問題である。保護を受けていない困窮世帯の消費に合わせるとの名目で生保を削減することは、完全に間違っている。削られる世帯には大きな額だが、市にとってはごくごく少額（数十万円）である。市が補てんを。

平間ますみ

久喜本町8-4-1



6月21日（木）の3番目（午前）

1 給食費の無料化について

子育て世代の負担軽減、応援として、給食費の無料化を求めてきました。市長選挙で、梅田市長は保育料・給食費の負担軽減を公約に掲げました。具体的内容・工程について質問します。

2 子ども医療費18歳までの無料化について

先の市長選挙で田中前市長は「議会の承認が得られれば、すぐにでも実施ができるように準備はできている」との発言を繰り返してきました。子育て世代の強い要望です。梅田市長に制度の実施を求めています。

3 公共施設のトイレ洋式化について

これまで、計画的な洋式化に向けた取り組みを要望してきました。梅田市長の公約に、学校のトイレを清潔で使いやすいものにし、子どもたちの健康維持の環境整備を進めるとあります。他の公共施設の洋式化も含め、具体的内容を質問します。

4 住宅リフォーム助成制度について

地域に及ぼす経済効果は大きく、国もこの制度を推進しており、毎年要望してきました。早期の創設を求めて質問します。

5 久喜北陽高校西側の冠水対策について

久喜北陽西側の冠水問題は、早急に解決する必要がありますが改善されていません。抜本的解決に向けて、具体的計画を聞きます。